

カーボンニュートラルへの取組み

2023年6月14日

産業を支える、未来を動かす。

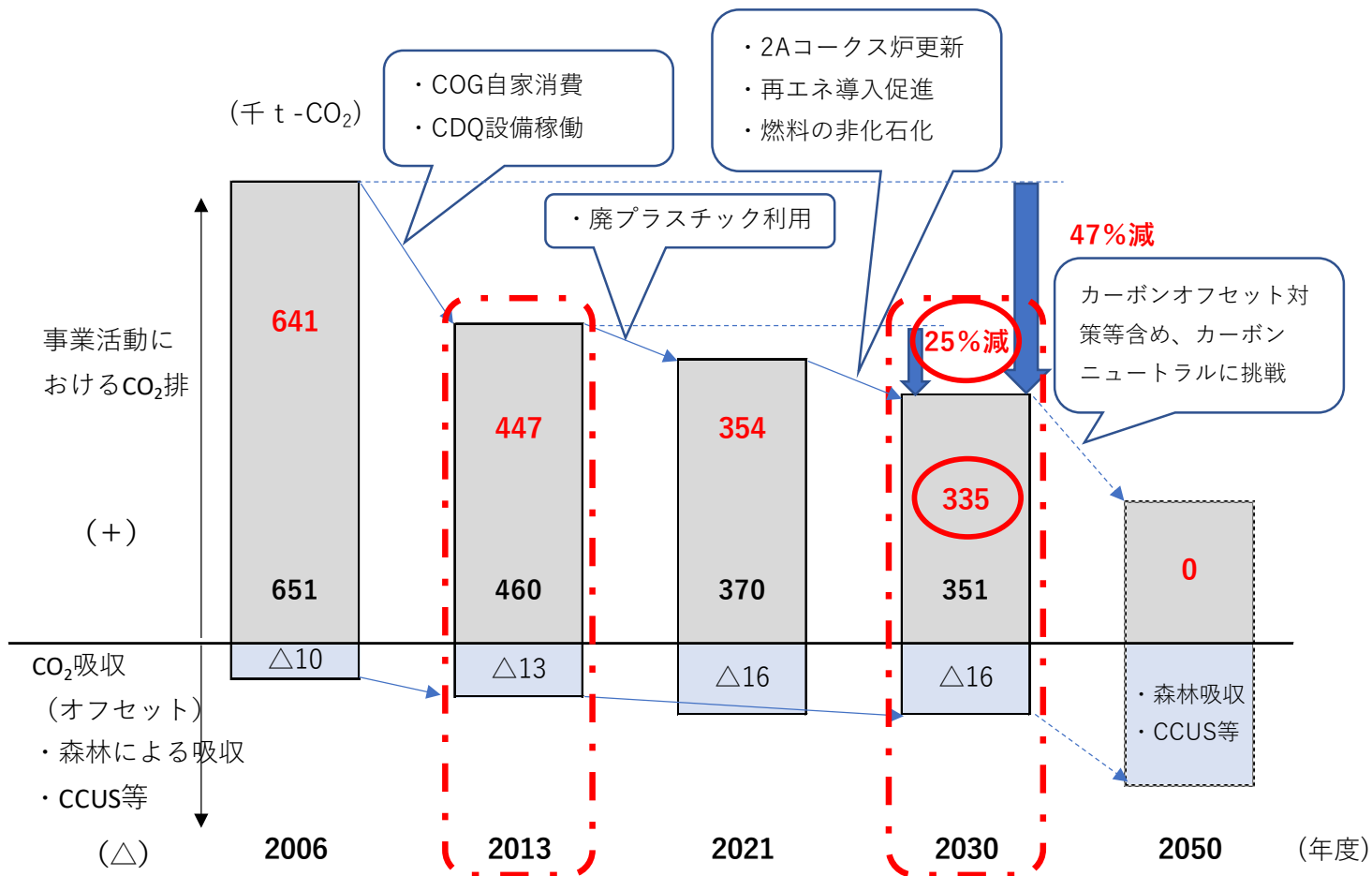
 **日本コークス工業**

証券コード3315 : 石油・石炭製品

■ カーボンニュートラルロードマップの見直し

見直し内容

- CO2排出量削減の基準年度を2020年度としていましたが、日本政府の基準年度と合わせ、2013年度に修正し、改めて2030年度の目標を設定（対2013年度比25%減）しました。
- 北九州事業所のコークス製造時のCO2排出量計算方法について、工場内でリサイクルされる炭素量を正確に控除し補正しました。



今後の取組み

北九州事業所

- ・ 環境負荷軽減、省エネ対応を企図しパドアップ方式（炉の基礎部分を残し、上部煉瓦を積み替える工事方法）による「2A炉更新工事」を2023年2月より開始、2024年9月の再稼働を計画しております。



- ・ 産・学・官一体で、各種CCU技術開発も積極的に推進いたします。
- ・ 原料炭代替となるバイオマス原料の活用検討を開始いたします。

■ 今後の取組み

三美鉱業株式会社（当社100%子会社）

- ・ 北海道中央部に4,200haの森林を所有。
年間2万 t のCO2吸収を目指し、森林の計画的な整備を遂行します。



その他事業拠点

- ・ 本店（東京都江東区豊洲）においては、2023年4月より実質的に100%再生可能エネルギー由来のグリーン電力を導入しております。
- ・ 関係会社においては、グリーン電力化や太陽光発電による電力自給化を検討いたします。

■ 今後の取組み

カーボンニュートラル社会への貢献

- ・北九州事業所では、CO2排出量が少ないクリーンなコークス炉ガスや蒸気、廃熱利用による電力を近隣企業に販売（※エコプロセス紹介動画参照）。さらに、2023年6月よりアンモニア寄託事業を開始し、アンモニア取扱量増を狙います。また、水素地産地消モデル事業について、伊藤忠商事・CMBと共同事業化に向け検討を行っています。
※<https://www.n-coke.com/sustainability/movie/ecoprocess.mp4>
- ・燃料・資源リサイクル事業においては、石炭代替のバイオマス燃料の需要拡大に対応すべく、既存インフラ等を活用し取扱量増を図ってまいります。
- ・総合エンジニアリング事業においては、カーボンニュートラルにより成長が期待される電池製造、電子産業分野に関わる機器・装置を開発・供給してまいります。